

令和4年8月1日（月）

国土交通省関東地方整備局
荒川下流河川事務所

記者発表資料

CO₂吸収コンクリートブロックの現場試行を開始します

～ 新たなカーボンニュートラルへの取り組み ～

荒川下流河川事務所では、「インフラのライフサイクル全体でのカーボンニュートラル、循環型社会の実現」にむけた取組の一環として、CO₂吸収型コンクリートを用いた根固めブロックの製作・備蓄の検討を進めています。

この度、「コンストラクションオープンイノベーションマッチング」の成立により、大成建設(株)・日建工学(株)が提案する「カーボンリサイクル・コンクリートを用いた根固めブロック」の技術を用いた現場試行を開始します。

この技術により、一般的なコンクリート製品と同等の性能を確保しつつ、CO₂排出量の低減・吸収が期待できます。

1. 現場試行の内容

日時 令和4年8月5日（金）9：00～
場所 東京都北区志茂5丁目地先（荒川右岸堤防）
内容 カーボンリサイクル・コンクリートを用いた根固めブロックの製作

2. 取材対応

- 取材を希望される場合は、別紙－1により事前登録をお願いします。
申込期限：8月3日（水） 12:00まで
- 当日の取材にあたっては、必ずマスクの着用をお願いします。

3. その他

- 新型コロナウイルス感染拡大等の状況により中止となる場合があります。
- 荒天等で延期や中止する場合は、8月4日（木）13時までに荒川下流河川事務所HPにてお知らせします。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 埼玉県政記者クラブ
都庁記者クラブ（東京都） 川口市記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 荒川下流河川事務所

副 所 長（事業）
国土強靱化企画室長

たむら まさひろ
田村 匡弘
ささうち かつゆう
笹内 寛雄

（TEL.03-3902-2311）

【案内図】
東京都北区志茂5丁目地先（荒川右岸堤防）



「CO2吸収コンクリートブロック」現場試行 取材申込書

取材を希望される報道機関におかれましては、事前に取材申込みをお願いします。

開催日時：令和4年8月5日(金) 9:00～ (9:30 受付開始)

報道機関名	
ふりがな 担当者氏名	
当日の連絡先	
取材人数	

※ 御記入頂いた個人情報は今回取材のみに使用し、第三者には提供致しません。

※ 記者及びカメラマンの方々は、必ず貴社の「腕章」の着用をお願い致します。
また受付時には御名刺を頂戴致します。

※ 工事現場内では、ヘルメットの着用をお願い致します。
なお、ヘルメットは取材申込の際の人数分を当方にて用意致します。

※ 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、「マスクの着用を含む咳エチケット」等の感染予防対策に御協力をお願いします。風邪のような症状がある場合には、参加を控えて頂きますよう併せてお願いします。

※ 荒天等で延期や中止する場合は、8月4日（木）13時までに荒川下流河川事務所HPにてお知らせします。

取材を希望される報道機関の方は令和4年8月3日12時までに
以下のとおりメールにて事前登録をお願いいたします。

件名：[取材希望]CO2吸収コンクリートブロック現場試行

本文：記入済み取材申込書を添付 または 報道機関名、氏名（ふりがな）、連絡先、
取材人数をご記入ください。

申込先：ktr-arage-press@mlit.go.jp

【シーズ技術名】

カーボンリサイクル・コンクリートを用いた根固めブロック

【提案内容】

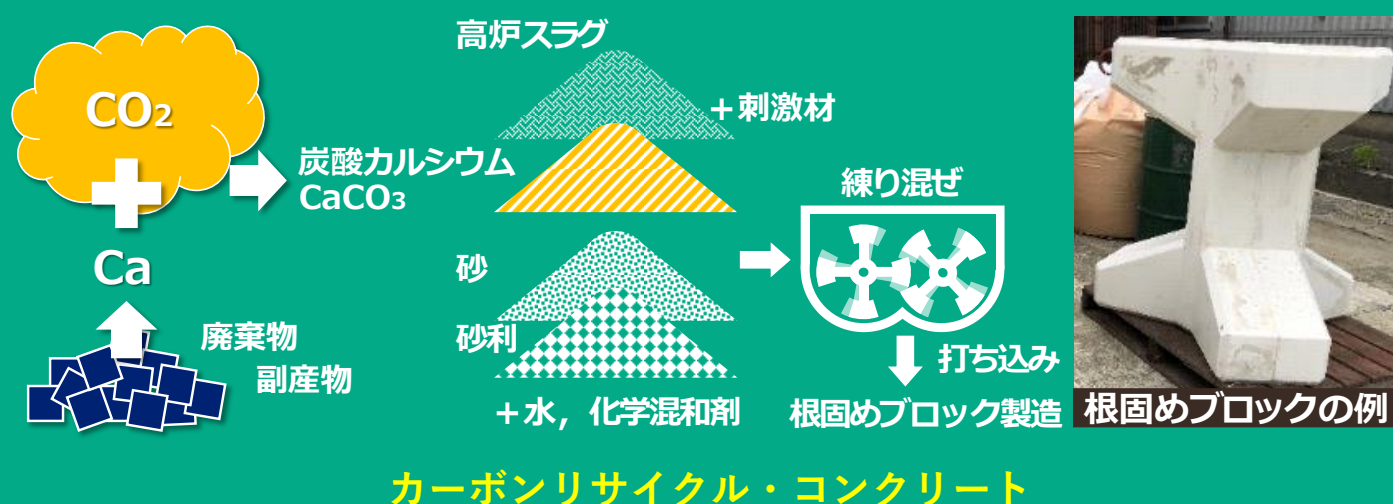
○カーボンリサイクル・コンクリート※¹と環境活性コンクリート※²を組み合わせ、材料製造・備蓄・供用の各段階でCO₂を吸収する根固めブロックを製造する。

※1 カーボンリサイクル・コンクリート

セメントを使用せず、高炉スラグなどに置き換えてCO₂排出量を削減し、さらに、排ガスなどのCO₂を吸収した炭酸カルシウムを混合したコンクリート。CO₂排出量が“マイナス”になる「カーボンネガティブ」を達成。

※2 環境活性コンクリート

アミノ酸の一種である「アルギニン」を混和したコンクリート。コンクリートの表面からアミノ酸がゆっくりと溶出し、コンクリートの表面への微細藻類の生長促進効果が期待できる。



環境活性コンクリート